

大鹿村中央構造線博物館たより 151号

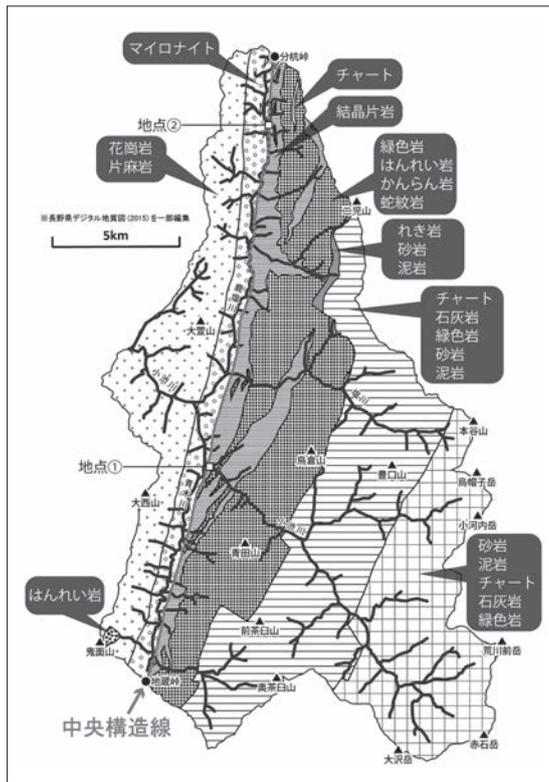


2021年12月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

大鹿小学校・中学校の授業で河原の石観察

図1 大鹿村を流れる川と岩石の分布



11月1日(月)、大鹿小学校6年生の校外授業がありました。まず、小学校の岩石園を見学した後、小渋川の対岸にある博物館まで歩いて往復する行程です。途中、小渋川の河原で石の観察をしました(図1の地点①, 写真1)。河原には、その地点より上流から流れてきた石が堆積していますので、博物館前の小渋川の河原に落ちている石は、すべて中央構造線より東側に分布している岩石になります。小渋川最上流部に分布している砂岩、泥岩が一番多く見られますが、緑色岩、チャート、石灰岩などもすぐに見つかります。赤い色をしたチャートも頑張って探せば見つかります。

10月28日(木)、大鹿中学校1年生の校外授業がありました。中学校の授業では、バスに乗って北川露頭に行った後に、河原の石の観察をする行程が組み込まれていますが、北川露頭の周辺一帯は、国の天然記念物に指定されており、岩石の採取が禁止されています。そこで、北川露頭より5分ほど鹿塩川沿いに南に向かって歩き、天然記念物指定区域を外れた場所で、河原の石観察をしました(図1の地点②, 写真2)。鹿塩川はほぼ中央構造線に沿って流れており、図1地点②

より上流では、東西の支流から川が流れてきます。そのため、河原では、中央構造線の東側に分布する結晶片岩、緑色岩と、中央構造線の西側に分布する花崗岩、片麻岩などが見られます。また、このあたりは、長野県デジタル地質図(2015)によると、中央構造線の東側にも西側にも、狭い範囲にチャートが分布しているように記されており、実際に河原でもチャートがたくさん見つかりますが、どうしてこのような分布をしているのかは不明です。(宮崎)



写真1

小渋川の河原の石観察(大鹿小学校授業にて)



写真2

鹿塩川の河原の石観察(大鹿中学校授業にて)